

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。

「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

本日、私たちは「父母の主日礼拝」をおささげいたします。日ごろのご両親の愛と犠牲に感謝し、神の前でその恵みを思い起こすひとときです。共に心を合わせて礼拝をささげましょう。

- 信州祈り会は、5月12日(月)佐久ホープチャペル(邑山 清門先生)にて開催される予定です。
- 野外礼拝は、天候等の事情により場所を教会に変更して行いました。恵みの中で終えることができたことを感謝いたします。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



「最も遠くまで届く香り」
(創世記 9:20～27)

20 ノアは農夫となり、ぶどう畑を作り始めた。21 彼はぶどう酒を飲んで酔い、自分の天幕の中で裸になっていた。22 カナンの父ハムは、父の裸を見て、外にいるふたりの兄弟に告げた。23 すると、セムとヤベテは着物を取り、ふたりで自分たちの肩にかけて、後ろ向きに歩き、父の裸を覆った。彼らの顔は後ろを向いていて、父の裸を見なかった。24 ノアは酔いからさめ、自分の末の息子が自分にしたことを知って、25 言った。「のろわれよ、カナン。彼は兄弟たちの、しもべのしもべとなれ。」26 また言った。「ほめたたえよ、セムの神、【主】を。カナンは彼らのしもべとなれ。27 神がヤベテを広げ、セムの天幕に住まわせるように。カナンは彼らのしもべとなれ。」

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダー)・北原明子(祈祷)

夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダー)松島スヤンティ(祈祷)

水曜礼拝 高木はつ江(司会)・松島浩一(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校(小学生まで)	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会・火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-19 号

2025.5.11

神の国とその義を
第一に求める

父母の主日礼拝

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00～

賛美リード 韓芽唯

信仰告白 (使徒信条)
代表祈禱 平澤寿子
特別賛美 インマヌエル聖歌隊
お知らせ
聖書箇所 創世記 9:20-27
メッセージ (最も遠くまで届く香り) 柳 承吉牧師
賛美 神の家族
祝 禱 柳 承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:20～

賛美リード 韓芽唯
代表祈禱 高木はつ江
聖書箇所 ヨハネの福音書 4:24
メッセージ (礼拝とは 3) 柳 承吉牧師
主の祈り

水曜礼拝

PM 7:00～

司 会 北原孝子
代表祈禱 柳澄香
聖書箇所 ローマ書 5:12-21
メッセージ 柳 承吉牧師
(ローマ書 5 章の概略-2)

今週の御言葉

「最も遠くまで届く香り」 (創世記 9:20～27)

人生において最も強い影響を与えるのは「両親」です。特に母親の影響については多く語られてきましたが、父親についてはどうでしょうか？現代社会では、父親の存在がますます軽く見られ、尊敬されない風潮が広がっています。「父を軽んじること」は、自分のルーツを否定することでもあります。父を敬うことは、自らの存在を大切にすることにつながります。

洪水後、ノアはぶどう酒を作り、酔って裸のまま天幕で眠ってしまいました。次男ハムはその姿を見て兄弟に伝え、父の恥をさらしました。しかし、セムとヤペテは後ろ向きに歩いてノアの裸を覆い、父の名誉を守りました。酔いから覚めたノアは、それぞれの子の行動を知り、セムとヤペテを祝福し、ハムの子カナンを呪いました。ここに、私たちが両親にどう接するべきかの霊的教訓があります。

I. ハムの罪：父の恥をさらしたこと

ハムの罪は、父ノアの過ちを笑い、他人に広めたことにあります。親の欠点を指摘し、笑い話にすることは、聖書の価値観に反する行為です。レビ記や申命記では、「親をのろう者は呪われる」と明確に記されています(レビ 20:9、申 27:16)。ノアは「正しい人、神と共に歩んだ人」でした(創 6:9)。そんな彼でも、過ちはありました。私たちの親も同じです。弱さを持つ存在であり、それを理解し、受け入れる姿勢が信仰者に求められます。

II. セムとヤペテの愛：父の恥を覆ったこと

セムとヤペテは、父を敬う心から行動しました。見て見ぬふりをせず、しかし恥を広めることもせず、静かに父を守ったのです。トゲウオという魚は、オスが命をかけて卵を守り、子どもたちが孵化する頃には死んでしまいます。現代の父親像が弱まるなか、このような自己犠牲の父性愛は、私たちの心を打ちます。今日の社会では、他人の失敗を喜び、話題にしてしまう風潮があります。しかし、クリスチャンである私たちは、「過ちを愛で覆う者」として生きるべきです。

III. 親への態度は、自らの祝福に関わる

ハムは父を軽んじたことで、自らでなく子カナンにまで呪いが及びました(創 9:25)。これは、親に対する行いが子孫にまで影響を与えるという重大なメッセージです。一方で、セムとヤペテは父を敬ったことで、霊的な祝福と物質的な繁栄を得ました。「セムの神、主をたたえよ」という表現は、神との深い結びつきを意味しています(創 9:26～27)。パウロもこう記しています。「父と母を敬え。…そうすれば、あなたは幸せになり、地上で長生きする。」(エペソ 6:1-3)

人生にはリハーサルがありません。今日という日は、二度と戻ってきません。だからこそ、親を敬い、愛をもって接するべき時は「今」です。箴言 23:25 はこう語ります。「あなたの父と母を喜ばせ、あなたを産んだ母を楽しませよ。」親の額のしわ、白髪、荒れた手足は、私たちのために費やされた愛の証です。最も遠くまで届く香り、それは父と母の愛の香りです。その香りを受けて育った私たちは、今度はその香りを返す者となりましょう。